

分類番号

757

テーマ別調べ方ガイド



デザインの 理論と歴史 について調べる



★ 関連授業科目

環境芸術学講義

文学部
前期、後期

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「デザインの理論と歴史」とは？

私たちの身の回りには多くの「デザイン」で溢れています。例えば、インテリア・デザイン、グラフィック・デザイン、ファッション・デザインなど。このようにデザインとなる対象は広く、それらの「デザイン」は消費されることを目的に生産されています。「デザイン」を取り巻く環境には、デザインを担当するデザイナー、それをもとに製造し販売する会社、そして、それを購入する消費者がいます。一定の時代や国や地域で流行したデザインの動きや、一人のデザイナーやブランド等の理論や歴史を研究することを、「デザインの理論と歴史」と呼びます。

さて、「デザイン」は、アートと補完し合いながら発展していきました。アートとデザインの決定的な違いとは、社会のニーズを反映しているかどうかです。アートは、アーティストによる表現の追及と言えます。その一方で、デザインは社会のニーズを反映させています。そこで、デザインを学ぶ上で、アートの動向（歴史とイズム）と、その当時の社会の流れを把握することは大切です。

「デザイン」が芸術のカテゴリーの中で論じられるようになったきっかけは、19世紀半ばイギリスのデザイナー、ウィリアム・モリス(Morris, William, 1834-1896)と彼の思想を受けて展開したアーツ・アンド・クラフツ運動からです。そして、「デザイン」を学問のジャンルとして確立させたのは、美術史家、建築史家のニコラス・ペヴスナー(Pevsner, Nikolaus, Sir, 1902-1983)です。

1-2. 学習するにあたってのポイント

デザインを学ぶ上で、大切なことは「本物」に触れることです。図書資料の説明や写真を見ているだけでは、使い心地や素材感は分かりません。本物に触れてみて、自身の目や手で感じ取って下さい。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

✓ デザインの理論と歴史の概要(日本)

■ 日本デザイン史：カラー版 / 横山正[ほか]執筆 【書誌 ID=2003688710】

総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.021/TAK

日本のデザインの理論やその歴史を、インテリア、グラフィックといった様々なデザインのジャンルを例に挙げながら、簡潔に紹介しています。理論と歴史を含め、日本のデザインの全体像を把握することに適しています。

■ 日本のデザイン：美意識がつくる未来 / 原研哉著 【書誌 ID=2004214300】

総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089/IS/R1333

日本デザインセンターの代表、武蔵美術大学教授、無印良品のアドバイザーボードを勤めるデザイナー原研哉が『図書』（岩波書店）で2009年2月から2年間連載した「欲望のエデュケーション」をまとめたのが、『日本のデザイン—美意識が作る未来』です。この本では、日本のデザインの底流にある美意識の一つを読み取ることができます。

✓ デザインの理論と歴史の概要(欧米)

- [世界デザイン史：カラー版 = The concise history of modern design / 阿部公正 \[ほか執筆\]](#) 【書誌 ID=2004376197】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.02/ABE](#)

日本国外の海外のデザインを中心に、理論やその歴史を、デザインのジャンルを例示しながら簡潔に紹介しています。また、デザインに見られる海外と日本の相互の影響にも言及しています。デザインの理論や歴史の展開の総体を掴むことに適しています。

- [近代から現代までのデザイン史入門：1750-2000年 / トーマス・ハウフェ著；藪亨訳](#) 【書誌 ID=2004045225】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757/HAU](#)

日本国外の海外のデザインの歴史を、社会史と文化史にも触れながら幅広く紹介しています。芸術と産業の影響を受けながら、1750年から2000年までの歴史の中でデザインはどのように展開されたのかを知ることができます。

✓ デザインの理論と歴史の原点を作ったデザイナーについて知る

- [ウィリアム・モリスとアーツ&クラフツ / 藤田治彦監修](#) 【書誌 ID=2004301181】
[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 750.233/FUJ](#)

デザインを学ぶ時に、最初に登場するのがイギリス人のデザイナー、ウィリアム・モリスと、彼の思想を引き継いで展開したアーツ・アンド・クラフツ運動です。モリスは、モダン・デザインのパイオニアで、デザインを勉強していく上で外せない存在です。この本は、モリスとアーツ&クラフツと、彼らの影響を簡潔に紹介しています。

✓ デザインの将来について考える

- [三宅一生未来のデザインを語る / \[三宅一生述\]；重延浩聞き手・編](#) 【書誌 ID=2004370094】 [総合図-A 棟 2 階 TA 選書 589.2/MIY](#)

「デザイン」を保存する意味とは何かを、ファッション・デザイナーの三宅一生とテレビマンユニオン会長重延浩が対談しています。二人の対談では、戦後の日本のデザインやアートを振り返りながら、将来のデザインがどのように変化するのかを考察しています。

2. 学習用資料

2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

- [現代デザイン事典 = Dictionary of today's design](#) 【書誌 ID=2003121639】
[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.033/GEN](#)

デザインの理論と歴史の要約、デザインで使用された最新の素材や技術について記載しています。デザインを学習するための関連図書を紹介しているので、辞書のように使えます。

■ [20 世紀のデザイン / シャーロット・フィール, ピーター・フィール著 ; \[Chizuru Ono 訳\]](#)

【書誌 ID=2003483764】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757/FIE](#)

20 世紀のデザイン史を支えた世界的に有名なデザイナーたちを紹介しています。20 世紀のデザイナーやデザインの理解の助けとなります。20 世紀のインテリア・デザインを研究されたい方にお勧めです。

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

✓ [デザインを研究する方法について知る入門書](#)

■ [現代デザインを学ぶ人のために / 嶋田厚編](#) 【書誌 ID=2003166619】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.04/SHI](#)

芸術や建築の理論やそれらの歴史の中で、デザインは、どのように学術的に扱われてきたのかを、建築家やデザインの理論や歴史を専門とする研究者たちのそれぞれの研究分野から、デザインを学術的に捉える方法を述べています。

■ [現代デザイン論 / 藤田治彦著](#) 【書誌 ID=2003349376】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.021/FUJ](#)

明治時代以降の日本のデザインを産業芸術、生活芸術、情報芸術、環境芸術として、本国におけるデザインの変遷を抑えることができます。日本のデザインを中心として、当時の欧米のデザインを紹介しています。

✓ [デザインの理論とその歴史の研究で古典とされる資料](#)

■ [モダン・デザインの展開：モリスからグロピウスまで / ニコラス・ペヴスナー \[著\]；白石博三訳](#) 【書誌 ID=2003075391】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757/PEV](#)

芸術と建築の枠組みの中でどのようにデザインは生成されて、独立したのかが分かります。芸術をめぐる近代運動の一つとしてのデザイン、また、デザインを支えたデザイン教育を通して、「デザイン」の系譜を理解することができます。

■ [第一機械時代の理論とデザイン / レイナー・バンナム著；石原達二, 増成隆士訳](#)

【書誌 ID=2002055693】 [理工学図-西館 2F 図書 520.1/B/197](#)

1900～1950 年までのデザインの動向を、アカデミー、デザイン教育を行う大学、建築家、デザイナーなどを挙げて説明しています。20 世紀前半のデザインの歴史や理論を把握することができます。

■ [口紅から機関車まで：インダストリアル・デザイナーの個人的記録 / レイモンド・ローウイ著；藤山愛一郎訳](#) 【書誌 ID=2003359445】 [総合図-書庫 501.8/LOE](#)

ヴォーグ誌のイラストからアメリカの航空宇宙局のスカイラブ開発計画に至るまで、アメリカを拠点に幅広い活躍をしたフランス人プロダクト・デザイナー、エンジニアのローウェイによる、20 世紀前半のプロダクト・デザインの機能やデザイン性などについて言及した書物です。

■ [欲望のオブジェ：デザインと社会 1750-1980 / アドリアン・フォーティ著；高島平吾訳](#)

【書誌 ID=2003064978】 [総合図-書庫 757.2/FOR](#)

社会のニーズの反映や商業的な目的で生産されたプロダクト・デザインを中心に、消費する人々、そして、社会に焦点を当てて、デザインが満たす私たちのニーズについて考察しています。

■ [デザイン史とは何か：モノ文化の構造と生成 / John A. Walker 著；栄久庵祥二訳](#)

【書誌 ID=2003295772】 [総合図-書庫 757.02/WAL](#)

「デザイン」それ自体が指し示すこと、デザインを取り巻く社会的システム、デザインが持つ社会的な役割などを、デザインを研究する意義、デザインの生産や消費、デザインと社会などを中心に考察しています。

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

■ [デザイン理論 / 意匠学会 \(<http://japansocietyofdesign.com>\)](#) 【書誌 ID=3002112254】

意匠学会は昭和 34(1959)年に設立された関西を拠点にデザインの理論的な研究を行う学会です。毎年刊行される「デザイン理論」は理論を用いたデザインを対象に多様な研究の方法を知ることができます。

なお、大阪大学の機関リポジトリ大阪大学学術情報庫 OUKA(Osaka University Knowledge Archive)で、学会誌「デザイン理論」の一部を読むことができます。

(<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/web/JJSD/index.html>)

(アクセスの仕方)

・OPAC で書誌 ID(3002112254)から検索 → 詳細画面に記載されている URL をクリック

・大阪大学学術情報庫(<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/dspace/>) →「意匠学会」で検索

■ [日本建築学会 \(<http://www.ajj.or.jp/>\)](#)

日本建築学会は 1886(明治 19)年に設立された日本の建築界のリーダー的な役割を担ってきた学会です。日本全国に9つの支部と36の支所を保有し、国内最大規模の建築に関する(建築史、建築学、建築工学、都市計画等)学会。建物の意匠からインテリアに至るまで、ジャンルを超えて幅広い研究が行われています。日本建築学会の学会誌はそれぞれの支部による建築学(構造系、環境系、計画系)論文集と3つの系統に分けられる)と技術報告のそれぞれ2つの学会誌を発行しています。大半は CiNii Articles の定額アクセスで利用することができます。

■ [服飾文化学会 \(<http://www.fukushoku-bunka-gakkai.jp/>\)](#)

服飾文化学会は平成 12(2000)年に設立されたファッション(日本国外を問わない)を中心に研究する学会です。毎年刊行される学会誌は、「服飾文化学会誌」【NCID=AA11556005】と「服飾文化学会誌 作品編」【NCID=AA12457949】があります。これらの学会誌では、ファッションの最新の研究を知ることができます。※

■ [日本デザイン学会 \(http://jssd.jp/\)](http://jssd.jp/)

日本デザイン学会は、昭和 28(1953) 年に設立された、都市計画からユニバーサルデザインまで、幅広いジャンルのデザインの研究を行っています。最新のテクノロジーを使ったデザインの研究を知ることができます。学会誌に、「デザイン学研究」【NCID=AN00150292】(研究論文集)と「デザイン学研究作品集」【NCID= AN10547226】があります。

「デザイン学研究」の第1巻1号(1956年11月)から第58巻4号(2011年11月)までは、CiNii Articles の定額アクセス可能サービスで全文を閲覧できます。※

「デザイン学研究作品集」では、第1巻(1995年11月)から第19巻(2014年3月)までは、CiNii Articles の定額アクセス可能サービスで全文を閲覧できます。※

※大阪大学では定額アクセスが利用可能です。学内で利用できないものは、複写物を取り寄せることもできます。詳しくは、相互利用カウンターや参考調査カウンターでご相談ください。

2-4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

✓ 近代デザイン全般

■ [近代デザインの美学 / 高安啓介 \[著\]](#) 【書誌 ID=2004374570】

[理工学図-西館 2F 図書 701.1/TAK](#)

■ [国際デザイン史：日本の意匠と東西交流 / デザイン史フォーラム編](#)

【書誌 ID=2003420679】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.02/DEZ](#)

✓ ウィリアム・モリス、アーツ・アンド・クラフツ関連

■ [ウィリアム・モリス：近代デザインの原点 / 藤田治彦 著](#) 【書誌 ID=2003179293】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 702.8/FUJ](#)

■ [ウィリアム・モリスとアーツ&クラフツ / 藤田治彦 監修](#) 【書誌 ID=2004301181】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 750.233/FUJ](#)

■ [アーツ・アンド・クラフツと日本 / デザイン史フォーラム編](#) 【書誌 ID=2003629838】

[総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 750.21/DEZ](#)

■ [アーツ・アンド・クラフツ運動 / ジリアン・ネイラー \[著\]; 川端康雄, 菅靖子共訳](#)

【書誌 ID=2004295815】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 750.233/NAY](#)

✓ 日本のデザインの理論と歴史

■ [近代日本デザイン史 A History of Modern Design in Japan 1860's -1970's / 長田謙一](#)

[\[ほか\] 執筆](#) 【書誌 ID=2004209104】 [総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 757.021/NAG](#)

■ 日本のデザイン運動：インダストリアルデザインの系譜 / 出原栄一著

【書誌 ID=2003027272】 理工学図-西館 2F 図書 501.8/IZU

2-5. 有用なナビゲートツール：ブックガイド・リンク集

近年、美術館や博物館、百貨店の展示スペース等でデザインをテーマとした展覧会が増えています。随時、それらのホームページで確認し、情報収集をすることをお勧めします。SNS (Facebook、Instagram、Twitter など) では、ブランドやメーカーの公式アカウントが情報を発信しているので、研究を進める中でヒントを与えてくれるでしょう。インターネットを利用しながら、情報を手に入れてください。

■ [artscape \(アーツスケープ\)](http://artscape.jp/) (<http://artscape.jp/>)

大日本印刷株式会社が運営するアートに特化したサイト。この「アートワード」では、デザインの専門用語を検索することができます。専門用語の執筆は専門家が担当しています。

■ [インターネットミュージアム](http://www.museum.or.jp/) (<http://www.museum.or.jp/>)

株式会社丹青社のグループが運営する日本の博物館や美術館の最新情報を発信するサイトです。展覧会の最新情報を調べ確認することができます。

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: デザイン、室内装飾、アート
- ◆ 関連キーワード: 生活科学、工業デザイン
- ◆ 補助キーワード: 社会、歴史、文化

3-2. 二次資料類：検索サイト・書誌索引

ご自身が研究される対象によって異なってきますので、資料の断定はできません。しかし、デザイナーやブランドに関する展覧会カタログ、研究論文などが二次資料となるでしょう。

3-3. 一次資料類：史料集・全集・統計集・ファクトデータ集

■ [Victoria and Albert Museum: Search the Collection](http://collections.vam.ac.uk/) (<http://collections.vam.ac.uk/>)

1857年、世界で最初に、デザインを展示・収集するために設立されたのは、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館です。ここでは、同博物館の世界中から集められたコレクション(工芸品、テキスタイル、プロダクト・デザイン、グラフィック・デザイン、装飾品、建築の図面等の世界中のもの)をオンラインで閲覧できます。

■ [World Digital Library](http://www.wdl.org/en/) (<http://www.wdl.org/en/>)

World Digital Library は、アメリカ議会図書館とユネスコが中心となった地球規模の電子図書館です。世界中の国や地域の図書館、博物館、教育・研究機関等と連携し、それらが所蔵する古文書や絶版の図書資料から、地図、絵画、写真といったイメージに至るまでをデジタル化して公開しています。古いものは、紀元前 1200、最新のものは 2000 年、約 193 の国や地域の図書館や博物館等の所蔵品 11,856 ものアイテムをオンラインで閲覧できます。

■ [京都服飾文化研究財団\(KCI\) デジタル・アーカイブ](http://www.kci.or.jp/archives/digital_archives/) (http://www.kci.or.jp/archives/digital_archives/)

1978 年、株式会社ワコールが設立した京都服飾文化研究財団は日本国内外の服飾や装飾を研究する財団です。ここでは、KCI 所蔵の国内外の 18～20 世紀の衣装や下着、アクセサリ等の約 200 点をオンラインで閲覧できます。

3-4. レポート・論文の書き方、学び方、引用・参考文献の書き方

■ [大学生の文章術：レポート・論文の書き方](#) / 旺文社編 【書誌 ID=2004376902】

総合図-A 棟 2 階 アカデミック・スキル・コーナー 816.5/OBU

■ [加藤哲弘先生のホームページ](http://web.kyoto-inet.or.jp/people/katotk/sallink.html) (<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/katotk/sallink.html>)

関西学院大学文学部の加藤哲弘教授のホームページでは、美学や芸術学を学ぶ学生のために論文を書くために必要なスキルをはじめ、インターネットやデータベースの資料の活用の方法、参考文献の書き方などを紹介しています。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

